

SEMINAR HOUSE NEWS NO.196

 大学セミナーハウス
INTER-UNIVERSITY SEMINAR HOUSE

公益財団法人大学セミナーハウス
192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1
電話：042-676-8511 / FAX：042-676-1220
ホームページ：https://iush.jp/

セミナーハウス・ニュース No.196 / 2020年10月31日発行

新規セミナー発進 セミナー事業充実化

セミナー事業報告

主催セミナー実施報告
2019年度 主催セミナー一覧

法人ニュース

理事会、評議委員会報告

オンラインセミナー、
ハイブリッドセミナーを本年度スタート！

SPA 報告

SPA 利用状況

宿泊事業報告

宿泊利用状況





各種利用プランのご紹介



1. スペシャルプラン 2020 ~ 2021.2.28 ※年末年始休館日を除く

宿泊室、セミナー室 ゆったりご利用プラン

対象	宿泊をともなうすべてのご利用
料金	宿泊室の割増料金なし、セミナー室利用料金が半額

宿泊をともなうご利用者に、すべてのお部屋タイプが割増料金なしで1名もしくは2名にて利用いただける、かつセミナー室利用料金が一律半額となる、大変お得なプランです。

3密を避けて広めのお部屋を利用ください！



2. 実施期間限定プラン 2020.10.1 (in) ~ 2021.2.28 ※年末年始休館日を除く

冬期限定 宿泊プラン

対象	宿泊をともなうすべてのご利用
料金	1泊朝食付 おひとり様 税別3,000円~3,700円

宿泊をともなうすべてのご利用者に、冬シーズン限定で利用いただけるプランです。朝食付きの宿泊料金が割引価格で利用いただけます。ゼミ、研修、会議、会合、講習会、音楽練習など、さまざまな用途で活用ください。

冬期限定 日帰りプラン

対象	日帰りのすべてのご利用
料金	セミナー室料金の割増なし 1時間 税別500円~5,000円

日帰り利用の場合、セミナー室料金が通常50%割増しのところ、割増料金なしでご利用いただけるプランです。ゼミ、研修、会議、会合、講習会、音楽練習など、さまざまな用途で活用ください。



3. 通年実施プラン

キャンセル優遇規定適用 学生向け 遠征宿泊プラン

対象	プラン実施期間中の宿泊を利用日の2か月前からご予約いただく団体(15-200名)
料金	1泊 おひとり様 税別3,000円~4,500円

スポーツ大会や音楽イベントなどの各種競技会参加の学生の皆様にご利用いただける、お得な宿泊プランです。大会開始後の競技結果により宿泊を取り消す場合「キャンセル優遇規定」を適用いたします。引率・応援の保護者様向けの料金も用意しておりますので併せてご利用ください。

留学生短期滞在 応援プラン

対象	日本国内に短期留学する学生及び教職員
料金	1泊(食事なし) おひとり様 税別1,500円~2,000円

海外から東京都(特に多摩地域)及び近郊の大学に短期留学する学生・教職員の皆様向けに、大学セミナーハウスの客室で格安ステイを実現する特別割引料金プランです。留学生、研究員の受け入れ予定がある大学の担当部局、先生方からのお問い合わせをお待ちしております。



※協力会員、準協力会員、賛助会員と、一般では料金が異なります。
※料金は、ご利用の宿泊室、セミナー室ごとに異なります。
※お部屋数には限りがございますので、御希望に添えない場合もございます。
※各プランは、かならずHPをご覧ください、詳細をご確認ください。

各プランについては大学セミナーハウスHP → 「宿泊プラン」をご参照ください。



千人会通信

(千人会：大学セミナーハウス運営支援団体 1967年設立)

会費をありがとうございました 2019年7月～2020年6月(敬称略)

7月

上野芳康、柏木恵子、小川信子、松尾秀雄、橋本 智、古本邦枝、松島 恵、松山正男、金谷 憲

8月

村田光二、得田保雄、蓮見音彦、新井勝紘、栗原 裕、荒川由美子

9月

野崎昭弘、沖塩莊一郎、村上陽一郎、井手久登、山田耕司、柳下 登、厚東偉介、石川達雄、末松安晴、鈴木俊和、東壽太郎

10月

村上 健、伊藤一郎、酢屋善元、藤本 紘 11月 木畑洋一、熊川 忠、城 謙輔、福井憲彦、鈴木順子

12月

松本幸一、有山正孝、堀井啓幸、川鍋正敏、三浦永光、三浦安子、稲持教昭、小谷正博、横沼健雄、中野斉子、上田明子、池井 優、出光直樹、白井克彦、松田安弘

1月

大澤恵美子、新保清子、並木信一、柳父圀近、佐藤音彦、海老澤信一

2月

磯 直道、小場瀬令二、高松正昭、蓮見音彦、泉 敏彦、麻生 幸、秋間 実、佐藤 光、仙田 哲、北原文雄、肥前榮一、島田治夫、宮腰 賢、絹川正吉、島海保子

3月

柴田泰比古、勝見允行、森 久、小林一彦、小場瀬純子、甲斐義幸

4月

海老根宏、松澤通生、瀧口俊子、川崎正三、金子六郎、犬塚 博、竹村五夫、太田正孝、伊藤意智郎

5月

加藤晴久、西澤宗英、頼 仰史、朝野洋一、犬塚 博、田中 裕、中村幸安

6月

安宅光雄、小倉充夫、石川達夫、古本邦枝 7月 米村貞蔵、松島 恵、上野芳康、小川信子

終身会員

秋山 仁、狩野紀昭、寿岳 潤、長谷川瑞穂、本田 誠、渡辺禮子

会員からのメッセージ

(敬称略)

- 八王子セミナーハウスのご発展を応援しています。松尾秀雄
- 近年、グローバル社会に対応した知的な出会いの場としての役割も果たしておられ、ますますのご発展をお祈りいたします。松島 恵
- セミナーハウスのご発展を心よりお祈り申し上げます。松山正男
- 大学セミナーハウスの益々の発展を祈ります。得田保雄
- 昨年は『新八王子市史』に近現代編の責任者として、なんとか責任を果たすことができました。新井勝紘
- 大学セミナーハウスの一層の発展を祈念しています。栗原 裕
- 春と夏の研究会でセミナーハウスにお邪魔しています。春の桜も、夏の青葉も研究会で疲れた心身を慰め、また活力を提供してくれます。運営に従事されておられる職員の方々、いつも有難うございます。荒川由美子
- 今年もなんとか誕生日を迎えられそうです。もう少し、仕事もしたいと思っております。村上陽一郎
- 本年度分の会費をお送りします。山田耕司
- いつもお世話になっております。今年1月で卒寿を迎えました。申し訳ありませんが、千人会も卒業させてもらいます。皆様によるしくお伝えください。ありがとうございました。柳下 登
- 早大定年後早くも6年目を迎えました!! まだ少しだけ元気です!! セミナーハウスの大発展を祈ります。厚東偉介
- 国内の大学(特に the Humanities) 受難の時代の様ですが、それにも負けず、益々のご発展をお祈りいたします。村上 健
- 誕生日のお祝いの言葉、ありがとうございます。新しい時代に向けて、良い勉強の場として用いられていかれますように。熊川 忠
- 誕生日カードをありがとうございました。ご返信が遅くなり、申し訳ございません。ここ1～2年歩行能力が著しく低下して何事をするにも、時間がかかります。アメリカセミナーの新規開催ご盛会をお祈りしております。鈴木順子
- パスカードありがとうございました。昨年の12月は心臓手術のために会費を送ることができませんでした。今は元気にコミュニティ・スクール導入にかかわって静岡県内を回っています。堀井啓幸
- 大学セミナーハウスの一層のご発展をお祈りいたします。今年もおかげさまでなんとか誕生日を迎えました。感謝しています。横沼健雄
- 誕生日カードをありがとうございました。何事もなければ、来年は90才になりますので、今日、2年分お送りいたし、来年末で千人会退会をお願い致したく存じます。セミナーハウスのご発展をいのりつつ。上田明子
- 2020年もよろしくお願い申し上げます。出光直樹
- 当方、大学を退職しまして、この春で8年となります。長い間、お世話になりました。なお、今後のご案内は謹んでご辞退申し上げます。貴会の益々のご繁栄をお祈りしております。松田安弘
- セミナーハウスご利用後は、八王子でB級グルメはいかがでしょう。おすすめは八王子ナポリタン。絶品です。7月には五輪種目の自転車ロードレースがセミナー周辺で開催。楽しみです。海老澤信一
- 大学セミナーハウスのますますのご発展を祈り上げます。若い人達が世界中にはばたいて活躍してくれますように…。高松正昭
- 千葉商科大学から福島学院大学に移りました。麻生 幸
- おかげさまで92歳になりました。あまり歩けません、ほそぼそと読書・翻訳を続けています。大学セミナーハウスのますますの発展を祈ります。秋間 実
- 私はこの一月で100歳になりました。大学セミナーハウスを利用していただいから半世紀になるかと思えます。所謂「セミナーハウス」の先鞭をきられたところです。その後大学では独自のセミナーハウス設立が始まりました。北原文雄
- 85歳になりました。大学セミナーハウスのご健在を祈ります。肥前榮一
- 貧者の一灯です。宮腰 賢
- 昨年3月が最後のゼミ合宿でした。これからは個人で宿泊することも考えています。森 久
- 遅くなり申し訳なし。小林一彦
- お手紙ありがとうございました。私、数年前に体調をくずして、現在も通院と家庭内療養中、外出は出来ていません。年金暮らしですが、なんと皆様のお役に立つことができれば、と思います。甲斐義幸
- セミナーハウスにとってもコロナウイルスの蔓延は大変な障害ですが、困難にめげずにセミナーハウスらしい知恵をふりしぼって頑張ってください。金子六郎
- 新型コロナ問題の最中の4月、誕生日を迎えました。セミナーハウスの皆様のご健勝を祈念いたします。犬塚 博
- 誕生日祝いありがとうございました。学問の世界・学者を大切することを望んでいます。太田正孝
- 昨年は失念しました。伊藤意智郎
- 45年間立ち続けた私立大学の教壇から完全に離れました。西澤宗英
- 80歳になりました。会員歴50年をめぐっています。朝野洋一
- 夫米村貞蔵が昨年亡くなりました。今年で会をやめさせていただきます。千人会のますますのご発展をお祈り申し上げます。米村貞蔵(内 幸江)
- 本年もまた誕生日のカードをお送りいただきありがとうございます。大学セミナーハウス開館直後、飯田館長のもとと学生と共に利用させていただいたことをなつかしく思います。松島 恵
- 私たちも昨年は恒例の5月9日研究学生らを引率して2泊3日ずつ研究合宿しましたが、今年の5月は中止せざるを得ず、国内外の学術研究講演会も暫定的に遠隔方式に移行しました。遠隔会議方式にはメリットがあるとはいえ・・・大学セミナーハウス等に集会かつ宿泊しての講演会やセミナー会合を順次再開できるようにと切望しています。上野芳康
- 開館50周年心よりお祝い申し上げたい気持ちです。開館当時に参加させていただき、飯田先生、上代先生、一番ヶ瀬先生と同席させていただいた者として感無量です。吉阪先生設計の建物おそらく伺えませんが、ますますのご活用を心より念じています。小川信子

千人会のご案内

千人会は、大学セミナーハウスを支えるための個人からなる後援組織として発足しました。大学セミナーハウスは、今後も単なる宿泊施設としてではなく、大学間の壁を越えた知的出会いの場として、また、地域のりやや社会人にも開かれた研修施設として、さらなる発展をめざしてまいります。千人会にご関心を寄せていただけましたら、ぜひお問合せください。

「人の善意によって経営が支えられるということは最も理想の形態である」

—千人会第1号会員故山内恭彦先生(理学博士・東京大学名誉教授)—

千人会会費

A 会員 年額 10,000円 B 会員 年額 5,000円

C 会員 年額 3,000円 終身会員 100,000円

お問合せ先

総務部 TEL 042-676-3081

FAX 042-678-4734

法人ニュース

第32回理事会報告(2019年度第3回)

1. 公益財団法人大学セミナーハウス2020年度事業計画(案)について
2. 協力会員協議会運営委員会の設置に関連する規定の制定及び改廃(案)について
 - ・公益財団法人大学セミナーハウス協力会員等に関する規定の改正
 - ・公益財団法人大学セミナーハウス運営幹事会要綱の廃止
 - ・公益財団法人大学セミナーハウス協力会員協議会に関する規定の制定
3. 公益財団法人大学セミナーハウス職員賃金規定の改正について
4. 公益財団法人大学セミナーハウス非常勤職員就業規則の改正について
5. 公益財団法人大学セミナーハウス事務組織規程別表の変更に伴う規定の改正について
6. さくら館カード設備のリースについて

2019年11月29日開催

第32回理事会が2019年11月29日(金)、桜美林大学四谷キャンパスにおいて開催され、上記議案について滞りなく承認された。「2020年度事業計画」については、大学セミナーハウスのホームページ[法人のご案内]⇒[情報公開]⇒[事業計画/収支予算書]をご覧ください。

公益財団法人大学セミナーハウス理事会(決議の省略)

1. 公益財団法人大学セミナーハウス特定資産取扱規定の制定について
2. 2020年度収支予算(案)について

2020年3月19日開催

第33回理事会が2020年5月21日(木)、WEB会議により開催され、上記議案について滞りなく承認された。「2019年度事業報告(案)」及び「2019年度決算書(案)」について、6月12日開催の評議員会において審議・決定される。

第33回理事会報告(2020年度第1回) ZOOM会議

1. 2019年度事業報告(案)について
2. 2019年度決算書(案)について
3. 2020年度第1回評議員会の開催について
4. 2020年度会費の減額申請について
5. 大学セミナーハウス協力会員等に関する規定の改正について
6. 基本財産の変更について
7. 留学生会館の用途変更手続きについて

2020年5月21日開催

第33回理事会が2020年5月21日(木)、WEB会議により開催され、上記議案について滞りなく承認された。「2019年度事業報告(案)」及び「2019年度決算書(案)」について、6月12日開催の評議員会において審議・決定される。

第13回評議員会(2020年度第1回)

1. 2019年度事業報告(案)について
2. 2019年度決算書(案)について
3. 基本財産の変更について

2020年6月28日開催

第13回評議員会が2020年6月12日(金)、WEB会議にて開催され、上記議案について滞りなく承認された。「2019年度事業報告」及び「2019年度決算書」については、大学セミナーハウスのホームページ[法人のご案内]⇒[情報公開]⇒[事業報告/決算報告]をご覧ください。

訃報 去る10月18日に前理事長(現理事、千人会終身会員) 佐藤東洋士先生がご逝去されました。

理事・監事・評議員一覧

理事(9名)

理事長：荻上 紘一 (東京都立大学元総長/大学評価・学位授与機構名誉教授)
館長：鈴木 康司 (中央大学元学長)
専務理事：外村 幸雄 (中央大学元広報室長)
常務理事：白井 克彦 (早稲田大学元総長)
理事：上野 淳 (東京都立大学学長)
 大場 昌子 (日本女子大学元学長)
 小川 哲生 (明星学苑副理事長)
 増田 正人 (法政大学副学長・常務理事)
 室伏 きみ子 (お茶の水女子大学学長)

監事(2名)

監事：沖永 佳史 (帝京大学理事長・学長)
 馬場 善久 (創価大学学長・副理事長)

評議員(15名)

評議員会議長：鷺山 恭彦 (東京学芸大学元学長)
評議員：石森 孝志 (八王子市長)
 大井 孝 (日米会話学院元学長/社団法人日米協会理事)
 小畑 秀文 (東京農工大学元学長/国立高等専門学校機構元理事長)
 佐久間 勤 (上智学院理事長)
 篠田 節子 (作家)
 夢沼 紘一 (一橋大学元学長)
 長谷山 彰 (慶應義塾塾長)
 日比谷 潤子 (国際基督教大学元学長)
 ピーター マックヤグ (国際教養大学元理事兼副学長)
 村田 雄二郎 (東京大学名誉教授/同志社大学教授)
 八木 敏郎 (多摩信用金庫理事長)
 山本 眞一 (筑波大学・広島大学・桜美林大学名誉教授)
 吉岡 智哉 (立教大学元総長/日本学生支援機構理事長)
 渡邊 啓貴 (東京外国語大学名誉教授/帝京大学教授)

SPA 報告

SPA(セミナーハウス・プロジェクトアドベンチャー)とは、大学セミナーハウスが提供する体験型の学習プログラムです。グループでアドベンチャーに挑戦し、メンバーと一緒に課題を解決していくプロセスで、一人ひとりの成長を促すとともに、組織として問題を解決する力を育みます。

2019年7月1日～2020年7月31日

ご利用団体名	人数	目標
ARTE 陵南サッカースクール	28	責任感と協調性を養う
たましん(インターシップ)	35	関係作り
中日親子交流フォーラム	18	みんなで楽しく活動する
創価大学寒河江ゼミ	29	学年を超えた交流
狛江市教育委員会	12	クラスで使えるワーク
福生市教育委員会	72	クラスで使えるワーク
ARTE 狭間サッカースクール	27	チームの大切さ
桜美林大学谷内ゼミ	15	学年を超えた関係作り
株式会社ネオキャリア	14	失敗を恐れない関係作り
株式会社ネオキャリア	13	新旧メンバーのチーム作り
株式会社ネオキャリア	20	リーダーシップ
株式会社ネオキャリア	23	諦めない
株式会社ネオキャリア	24	コミュニケーション強化
多摩コロキウム	100	お互いに知り合う
日本大学池野ゼミ	22	学年を超えた関係作り
計	452	

※ SPA プログラム以外は掲載していません。



宿泊事業報告

◆2019年度宿泊利用者数 26,605人

2019年度の宿泊利用者数は26,605人で、前年度の31,903人と比較して5,298人の減少でした。特に新型コロナウイルス感染拡大により2月・3月の宿泊利用状況は壊滅的でした。

◆宿泊の年間稼働率は32.5%

2019年度の営業日数は360日で、宿泊室(宿泊定員273人)の年間平均稼働率は32.5%でした。

尚、ご参考までに利用の多かった協力会員校を紹介します。

協力会員校利用上位10校

●宿泊延べ人数

1	創価大学	1,054
2	早稲田大学	949
3	中央大学	815
4	帝京大学	731
5	法政大学	603
6	東京都立大学	602
7	東洋大学	563
8	明星大学	314
9	東京学芸大学	312
10	駒澤大学	242

●利用件数

1	中央大学	26
2	帝京大学	24
3	法政大学	21
4	早稲田大学	20
4	創価大学	18
6	東京都立大学	18
7	明星大学	10
8	上智大学	9
9	東洋大学	9
10	青山学院大学	8
10	東京外国語大学	8

◆区分利用状況

2019年度

宿泊延べ利用人数全体に占める区分別の構成比は表に示す通りです。

宿泊延べ人数表

区分	2019年度		2018年度	
	宿泊延べ人数	構成比	宿泊延べ人数	構成比
会員校	10,128	38.1%	12,569	39.4%
一般校	10,146	38.1%	12,473	39.1%
社会人	5,861	22.0%	6,429	20.2%
主催セミナー	470	1.8%	432	1.4%
合計	26,605	100.0%	31,903	100.0%
収容人員	273人		273人	
年間稼働日数	360日		360日	
年間収容定員	98,280人		98,280人	
年間稼働率	27.1%		32.5%	

2019年度 大学ゼミ利用一覧

青山学院大学石橋研究室	電気通信大学石橋孝一郎研究室
青山学院大学佐久間ゼミ	東京外国語大学丹羽ゼミ
青山学院女子短期大学子ども学科西山ゼミ	東京外国語大学国際社会学部大石高典ゼミ
青山学院女子短期大学輪島ゼミ	東京学芸大学萬葉ゼミ
桜美林大学平ゼミ	東京学芸大学混声合唱団
桜美林大学谷内ゼミ	東京学芸大学学生協学生委員会
桜美林大学松尾ゼミ	東京経済大学放送研究会
大妻女子大学池田ゼミ	東京工科大学水環境工学研究所
大妻女子大学松木ゼミ	東京工科大学吹奏楽団
大妻女子大学田中ゼミ	東京工科大学クワイア管弦楽団
お茶の水理学部情報科学科	東京工業大学河野研究室
慶應義塾大学増井俊之研究室	東京都市大学兼子研究室
慶應義塾大学中国文学専攻	東京都市大学北村研究室
日本工学院八王子専門学校自動車整備部	東京都市大学渡部研究室
国際基督教大学書道部	東京都市大学梅原研究室
ICUグリークラブ	東京農工大学寺田・利谷研究室

駒澤大学吉田ゼミ	東京農工大学藤吉研究室
駒澤大学村井ゼミ	東京農工大学藤田欣也研究室
駒澤大学小西ゼミ	東洋大学川瀬ゼミ
駒澤大学文学部歴史学科中野ゼミ	東洋大学白川部ゼミ
芝浦工業大学鉄道研究会	東洋大学長津ゼミ
芝浦工業大学蟹澤研究室	東洋大学軟式野球部
首都大学東京エリカ混声合唱団	東洋大学大矢ゼミ
首都大学東京坂元研究室	東洋大学高木ゼミ
首都大学東京社会学部	東洋英和女学院大学篠原ゼミ
首都大学東京角田研究室	東洋英和女学院大学小坂ゼミ
首都大学東京田沼ゼミ	日本女子大学附属高等学校
首都大学東京久保田研究室	一橋大学堂免ゼミ
順天堂大学ヘルスプロモーションゼミ	一橋大学竹内ゼミ
上智大学水島ゼミ	法政大学金原ゼミ
上智大学社会心理学ゼミ	法政大学小林ゼミ
上智大学認知心理学研究室	法政大学武田ゼミ
上智大学ポルトガル語劇団	法政大学八名研究室
上智大学総合グローバル学部総合グローバル学科岸川ゼミ	法政大学吉村ゼミ
白梅学園短期大学保育科	法政大学木原ゼミ
創価大学坂本ゼミ	法政大学工藤ゼミ
創価大学栗山ゼミ	法政大学稲増ゼミナール
創価大学国際看護ゼミ	法政大学経済学部廣川ゼミナール
創価大学前田幸男ゼミ	明星大学人文学部国際コミュニケーション学科
創価大学安田ゼミナール	明星大学小貫ゼミ
創価大学戸田研究室	明星大学伊庭研究室
創価大学経営学部 GP アジア研修	明星大学佐藤ゼミ
千葉大学松浦研究室	明星大学人文学部熊本博之ゼミ
千葉大学羽間研究室	明星大学情報学部和田・山中研究室
千葉大学西阪研究室	明星大学丸山研究室
中央大学法学部専門演習阿部道明ゼミ	立教大学大友ゼミナール
中央大学劇団 The 座	立教大学深澤ゼミ
中央大学 FLP 伊藤ゼミ	立正大学板橋ゼミ
中央大学商法研究会	立正大学村尾ゼミ
中央大学丸丸ゼミ	立正大学経済学部渡部ゼミナール
中央大学山縣ゼミ	早稲田大学創造理工学部建築学科
中央大学池田ゼミ	早稲田大学常田研究室
帝京大学谷崎ゼミ	早稲田大学中村英俊ゼミ
帝京大学教育学部和田ゼミ	早稲田大学建築史中谷礼仁研究室
帝京大学森ゼミ	早稲田大学田口ゼミ
帝京大学五十嵐ゼミ	早稲田大学豊田ゼミ
帝京大学中山ゼミ	早稲田大学片岡ゼミ
帝京大学実吉ゼミ	早稲田大学佐藤将之研究室
帝京大学成家ゼミ	早稲田大学佐野研究室
電気通信大学上野研究室	早稲田大学楊立明ゼミ

留学生支援

■留学生論文コンクール2019 選考結果

公募期間：4月1日～10月15日 結果発表：11月15日
 全国37大学の留学生(出身国は6カ国)から54作品のご応募がありました。

<留学生論文コンクール2019入賞作品一覧>

- 金賞 潘 東農 (山口県立大学、中国)
 発展途上国においても科学的で効率的なごみ分別システムを整備する
 銀賞 陳 茜 (東京外国語大学、中国) テクノロジーによる食料危機の打開策
 銀賞 倪 飛飛 (広島大学、中国) AI技術の夢を如何に見るか
 銅賞 吳 佩珍 (神戸女子大学、中国) 国際結婚における偽装結婚の問題点と対処
 銅賞 EVELIN (駒澤大学、インドネシア) 食料主権を考える
 銅賞 練 詩安 (金沢大学、マレーシア) 無形文化遺産「言語」の消滅危機
 奨励賞 謝 鋼鋒 (星槎道都大学、中国) 少子高齢化問題

2020年度 留学生支援事業

■留学生論文コンクール2020

公募開始4月1日、締切10月15日 結果公表11月15日

委員：鈴木康司(大学セミナーハウス館長)、花澤聖子(神田外語大学アジア言語学教授)、勝又美智雄(グローバル人材育成教育学会理事長・国際教養大学名誉教授)、孫 国鳳(大学セミナーハウス)

留学生支援事業新規企画

■「日本語論文の書き方講座」

オンライン講座・2020年9月1日スタート

孫 国鳳(大学セミナーハウス)、大下 郁子(大学セミナーハウス委嘱講師)

セミナー事業報告



2019年度主催セミナー実施報告

■ 第39回 大学職員セミナー

テーマ：大学を牽引する職員を目指して
－ 大学とスポーツを考える －
7月5日（金） 参加者：45名、31校

東京オリンピック2020を目前にスポーツへの注目度がより高まりを見せる中、大学とスポーツの在り方や大学とスポーツの関係性について見直し、大学職員としてどのようにかかわっていくべきか、スポーツの持つ健全性やすばらしさをどのように大学の活動に結び付けていくかを考えるという主旨で第39回大学職員セミナーを開催しました。セミナーにおいては近藤清之企画委員長より「イントロダクション・問題提起」を話した後、法政大学経済学部杉本龍勇教授に「大学スポーツの現在」をテーマに講演を頂きました。続きのグループワークはワールド・カフェ形式で6グループに分かれ、「A: 学生アスリート支援の位置付け」、「B: 経営資源の投入」、「C: 成果の実現」、「D: 正課の学修支援」、「E: 学生生活支援」、「F: 卒業後のキャリア支援」の6つのテーマを掲げ、参加者の皆様が問題提起と講演を踏まえ、議論し、自大学の現状と比較しながらお互いに意見交換をしました。今回のセミナーを受けた参加者は「大学の規模によってやれること、やれないことはあると思うが、どんどん取り入れていきたい」と語り、積極的に取り込んでいく姿勢を示してくださいました。

詳細はセミナーハウスホームページに掲載▶



■ 第9回 新任教員セミナー

テーマ：アクティブ・ラーニング、その導入から深化へ
開催日：9月2日（月）～4日（水）
参加者：29名、14校

新任教員研修セミナーは国公立大学の枠を越えての合宿形式のセミナーです。今年も2泊3日に亘ってアクティブ・ラーニングの基礎、理論、様々な事例などを提起し、参加者に体験していただく機会を提供することができました。開会式において、ネットワーク多摩小川哲生会長の開会挨拶の後、菊地滋夫運営委員長より本セミナーの開催趣旨を説明して、セッション1に入りました。初日のセッション1「アクティブ・ラーニングに向けた関係性作り」（佐藤順子先生）とセッション2「相互理解を深め、人間関係を築くコミュニケーション・ワーク」（諏訪茂樹先生）は人間関係を築くコミュニケーション・ワークという内容で、2日目と3日目は、セッション3「大学生の育った環境、受けてきた教育—『高大接続』の視点から」（藤井恒人先生）、セッション4「アクティブ・ラーニングの理論と実際」（福山佑樹先生）、セッション5「アクティブ・ラーニングを機能させるための半期の授業設計・1コマの授業計画」（榎原暢久先生）、セッション6「多様性が生きる学びを目指して」（菊地滋夫先生）、セッション7「『わかる』を深め、『考える』を育む反転授業の基本」（伏木田稚子先生）、セッション8「困難を抱える学生の理解のために—合理的配慮を踏まえて」（村山光子先生）の順でセミナーを展開しました。開催後参加者からは「とても楽しみに参加し、期待以上の内容でした」、「運営委員の先生方の知識やご経験、それらを惜しみなく参加者に分かち合って下さるマインドに圧倒されました」などのコメントを頂きました。

詳細はセミナーハウスホームページに掲載▶



■ 第40回 大学職員セミナー

テーマ：大学を牽引する職員を目指して
－ 大学とスポーツを考える II －
開催日：9月20日（土）～21日（日）
参加者：13名、9校

第40回大学職員セミナーは、第39回大学職員セミナーのテーマをより掘り下げ、「スポーツ振興の社会的意義」を大学スポーツの現場で起きている課題を踏まえて考える場となりました。基調講演は「米国NCAAの仕組みと課題に学ぶ」をテーマに筑波大学アスレチック部門副アスレチックディレクターの山田晋三先生にして頂きまして、特別企画としてパネル・ディスカッションを導入しました。中央大学募金事業局局長・陸上部前総監督木下澄雄先生、法政大学保健体育部市ヶ谷保健体育課長・フェンシング部コーチ増田昌幸先生、東海大学スポーツ教育センター学園スポーツ振興課長・バスケットボール部統括コーチ木村真人先生をパネリストにお招きし、「大学スポーツ指導者として、大学職員として」をテーマにディスカッションをして頂きました。「各大学での事例について、本音を交えた率直な意見を聞くことができ、今後の業務の糧となるものだと思います」との参加者コメントがありました。

詳細はセミナーハウスホームページに掲載▶



■ 第1回 アメリカセミナー

テーマ：変動する世界とアメリカ
開催日：9月28日（金）～29日（日）
参加者：54名（14校、社会人含む）

新規開催のアメリカセミナーは、新鋭のアメリカ研究者・三牧聖子先生を委員長とし、前田幸男先生、五野井郁夫先生、高木徹先生の4人若きアメリカ研究者による企画で開催することになりました。セミナーの初めに講師先生方による問題提起、その後、企画委員先生の研究分野によって四つの分科会、「トランプ外交と世界秩序」（三牧先生）、「気候変動問題とアメリカ」（前田先生）、「世界秩序の中の日米安全保障体制」（五野井先生）、「トランプとオバマの国際メディア情報戦」（高木先生）に分けて、各分科会参加者の皆様がそれぞれのテーマをめぐり徹底的に分析・議論を行いました。分科会議論の結果を最終の全体会において発表しました。当セミナーの基調講演は「世界に介入するアメリカ、介入しないアメリカ」をテーマに企画委員長の三牧先生にして頂きました。建国から今日までのアメリカの歴史を客観的で簡潔にまとめたお話でしたので、参加者の方から「それぞれの分科会テーマを包括するアメリカと世界秩序の枠組みが分かりやすく納得できた」などの声が多数ありました。

トランプ大統領就任後のアメリカは「リベラルな世界秩序の盟主」から「米国第一」を掲げるようになり、それまでのアメリカのイメージを変えたと思われるような、目まぐるしい変化がありました。なぜアメリカがそうなったのか、アメリカの今後はどうなっていくかの疑問に対する納得のいく答えが見つかるセミナーとなり、「とても学びの深いものでした。刺激的でよかった」、「今まで知らなかったアメリカについて考えることが出来ました」などの感想が寄せられました。

詳細はセミナーハウスホームページに掲載▶



■ 古田武彦記念古代史セミナー

テーマ：古田武彦記念古代史セミナー 2019
開催日：11月9日（土）～10日（日）
参加者：64名

古田武彦記念古代史セミナーは、著名な古代史研究家古田武彦先生をしのび、大学セミナーハウス荻上紘一理事長を実行委員長とし、複数の古代史学の研究会を代表する研究者の方々により企画され、2018年から開催されているセミナーです。

古田先生を囲む古代史セミナーは2004年当時、大学セミナーハウスの荻上館長の発案を中嶋嶺雄理事長が、長野県松本深志高校における恩師であった古田武彦先生に紹介することによって始められ、「古代史セミナー～古田武彦先生を囲んで」として先生が逝去されるまで11回続けられました。

この「古田武彦先生記念古代史セミナー」は「古代史セミナー～古田武彦先生を囲んで～」とまったく同じ11月に開催され、全国から研究者達が来館して古田先生をしのび、先生の学問を継承するための研究交流を行いました。特別講演は国立歴史民俗博物館教授の藤尾慎一郎先生を招いて「二つの弥生時代―「イネと石」の時代から「イネと鉄」の時代へ―」をテーマに講演を頂きました。

セミナー開催中、古田武彦先生のご子息・古田光河氏より、先生のお人柄と思い出のお話を頂き、先生を慕う参加者の皆様は、懐かしい映像を見ながら先生の懐かしい肉声に聞き入って笑みをうかべられました。セミナー開催後、参加者からは「年に1回ここに集まり、発表会をすることは非常に意義のあることだと思います」、「毎年行うことで、会員の研究を促すし、発表内容のレベルアップをはかっていくということによりかと思えます」などの感想が寄せられました。

詳細はセミナーハウスホームページに掲載▶



■ 憲法を学問するIV

テーマ：近代立憲主義とポスト現代国家
開催日：11月30日（土）～12月1日（日）
参加者：49名、11大学

「憲法を学問するIV」セミナーは、これまでの同セミナーで取り上げられた「学説」、「判例」、「人と事件」のテーマと異なり、「来たるべきポスト現代の憲法状況に対して、日本国憲法の掲げる近代立憲主義はいかに立ち向かうべきかを」講師先生と参加者が一緒に考えていく展開でした。今年も分科会へのプロローグとして4人の先生方によるパネルディスカッションから始まりました。その後、分科会討論、分科会の枠を超えたフリートーク、分科会報告のようにセミナーを進行しました。今年の分科会テーマと担当講師は、第1分科会「競争と価値」（東京大学法学部石川健治先生）、第2分科会「アルゴリズムと個人」（日本大学大学院法務研究科教授蟻川恒正先生）、第3分科会「グローバルとローカル」（東京大学法学部教授穴戸常寿先生）、第4分科会「象徴と代表」（東京都立大学法学系教授木村草太先生）です。分科会の報告を踏まえた総括討論と質疑応答の最終会には樋口陽一先生も登壇され、会場の雰囲気が一気に盛り上がりました。参加者からは「樋口先生がいらっやあって、貴重なお話を伺えてとてもよかったです」などのメッセージがありました。

詳細はセミナーハウスホームページに掲載▶



■ 現代中国理解セミナー

テーマ：世界の中の中国と日本 - 現代中国理解 II
開催日：12月7日（土）～8日（日）
参加者：46名（14大学、社会人を含む）

現代中国理解というスタンスで開催する本セミナーは昨年、東京大学大学院教授の川島真先生にグローバルアカデミーセミナーとして新規企画して頂き大変好評でした。今年も同じテーマで、第2回目になります。政治分野は慶應義塾大学法学部教授小嶋華津子先生、社会分野は学習院女子大学国際文化交流学部准教授金野純先生、経済分野は大東文化大学経済学部教授内藤二郎先生、外交分野は企画委員長の川島真先生を講師として、四つの分科会に分け、課題を設定した上、議論を展開し、各分科会の議論結果を全体会において発表するとのプロセスでセミナーを行いました。

セミナーの初日、川島真先生に「習近平政権下の中国をどう見るか」をテーマに基調講演をして頂き、続いて内藤二郎先生が中国の「一帯一路」の事情を紹介してくださいました。その後4つの分科会に分け、議論を展開しました。開催後、参加者からは「新たな知識や考え方を習得できました」、「現代中国を学ぶ良い機会になりました」、「米中対立の構図がよくわかった」等のメッセージが多く寄せられました。

詳細はセミナーハウスホームページに掲載▶



■ 第8回 EU セミナー

テーマ：再生する EU と世界
開催日：12月13日（金）～15日（日）
参加者：65名（8大学、社会人を含む）

EU セミナーは東京外国語大学教授、在仏日本国大使館広報文化担当公使（2008-2010）であった渡邊啓貴先生を中心に企画され、年に一回、日本の卓越なEU研究者とEUを専門に勉強する学生さん、またEUに関心持つ社会人参加者の皆様がお来館して盛大に開催してきました。今年の第8回EUセミナーは、「再生するEUと世界」をテーマに開催しました。10月末を期限とするイギリスのEU離脱、米国との関税摩擦、イラン核合意問題に対して新体制になるEUは、新たな防衛政策や共通予算など次の統合段階へどのように進もうとするか、四つの分科会に分けて、参加者同士が議論し、最終日の全体会においてそれぞれ纏めた結果を発表しました。四つの分科会とは第1「世界経済の中の転換とEU」（田中素香先生・太田瑞希子先生）、第2「EUの新体制と市民社会」（福田耕治先生・武田健先生）、第3「ブレグジット後のEU」（小久保康之先生・渡邊啓貴先生）、第4「新たな日欧関係」（蓮見雄先生・明田ゆかり先生）です。

EUセミナーは毎年開催2日目の午前、駐日欧州連合代表部の方をお招きし、特別講演を頂くというプログラムがあり、参加者にはよりリアルなEUの現状に対する認識を深めることが出来る効果がありました。

詳細はセミナーハウスホームページに掲載▶



2020年度主催セミナー一覧

セミナー名	開催日	講師・企画（運営）委員	対象	参加者定員
第10回新任教員研修セミナー アクティブ・ラーニング、その導入から深化へ オンラインセミナー	8月31日(月) ～9月1日(火) 終了	講師：榑原 暢久（芝浦工業大学教育イノベーション推進センター教授） 村山 光子（学校法人明星学苑府中校事務長） 委員：菊地 滋夫（明星大学副学長・教授） 諏訪 茂樹（東京女子医科大学看護学部准教授） 福山 祐樹（関西学院大学 教務機構ライティングセンター准教授） 藤井 恒人（東京農工大学グローバル教育院教授） 伏木田稚子（首都大学東京大学教育センター准教授）	大学新任教員	30名
第9回EUセミナー コロナ危機以後の世界秩序とEUの将来	非開催	委員：太田瑞希子（日本大学経済学部准教授） 田中 素香（中央大学客員研究員・東北大学名誉教授） 福田 耕治（早稲田大学政治経済学術院教授） 武田 健（東海大学政治経済学部講師） 小久保康之（東洋英和女学院大学国際社会学部教授） 連見 雄（立教大学経済学部教授） 明田ゆかり（獨協大学非常勤講師）（講師のみ） 渡邊 啓貴（企画委員長／帝京大学法学部教授）	学生、院生、 社会人	60名
第2回アメリカセミナー 転換期のアメリカ未来を探る オンラインセミナー	10月3日(土) ～4日(日) 終了	委員：三牧 聖子（企画委員長／高崎経済大学経済学部准教授） 前田 幸男（創価大学法学部教授） 五野井郁夫（高千穂大学経営学部教授） 峯村 健司（朝日新聞社編集委員・北海道大学公共政策学センター研究員） 高木 徹（G-Media NHK 国際番組チーフ・プロデューサー）	学生、院生、 社会人	50名
第41回大学職員セミナー オンラインセミナー	10月31日(土)	委員：近藤 清之（法政大学常務理事） 青木加奈子（新島学園短期大学事務長） 大久保陽造（中央大学企画課課長） 加藤 毅（筑波大学大学研究センター准教授） 黒田絵里香（学校法人慶應義塾監局総務部課長） 神山 正之（立教大学キャリアセンター事務部長）	大学職員	60名
古田武彦記念古代史セミナー2020 ハイブリッドセミナー	11月14日(土) ～15日(日)	委員：荻上 紘一（大学セミナーハウス理事長）、大墨 伸明、橋 高修、 西坂 久和、和田 昌美、荻野谷 正博、富川 ケイ子	社会人、学生	60名
憲法を学問するⅤ	非開催	委員：樋口 陽一（東京大学名誉教授・東北大学名誉教授） 石川 健治（東京大学法学部教授） 蟻川 恒正（日本大学大学院教授） 木村 草太（東京都立大学法学系教授） 穴戸 常寿（東京大学法学部教授）	学生、院生、 社会人	50名
世界の中の中国と日本 現代中国理解Ⅲ	延期	委員：小嶋華津子（慶應義塾大学法学部教授） 金野 純（学習院女子大学国際文化交流学部准教授） 内藤 二郎（大東文化大学学長・教授） 川島 真（企画委員長／京大大学院教授）	学生、院生、 社会人	50名

会場参加とオンライン参加を同時双方向で行うハイブリッドセミナーを2020年度よりスタートしました。

館長室から 大学セミナーハウス 館長 鈴木康司

世界中を震撼させているコロナウィルスによる災害は、大学セミナーハウスの状況を昨年までとは一変させました。それだけでなく、我々を支えてくださる千人会をはじめとする方々もまた、高齢者を中心に極めて制限された日常を送らざるを得ないだろうと、心から案じております。

もともと大学セミナーハウスは大学間の壁を取り払い、講師と学生が寝食を共にして語り合い、研修し合って互いに切磋琢磨することを目的として始まったものです。それだけにこのコロナ禍は当ハウスの根幹部分を直撃しました。職員一同、この困難をどう克服するか、知恵を絞って立ち向かっております。幸い、副業をいろいろと考え、試みて今のところ頑張っておりますが、一日も早くワクチンが製造され、コロナ禍が終息するのを願っております。

さて、世の中の現象に目をやりますと、日本では安倍首相による二度目の病氣辞任発表が行われ、例によって派閥の領袖たちによる政権のたらいまわしが行われようとしています。主権者である国民はおろか、総裁を選べる権利があるからと言って集めた自民黨員さえ無視しているボスの方々が密室で決めたような人が取りあえず首相になるのかもしれませんが、「歴史は繰り返す」の言葉どおりこうしてできた政権が長続きするはずはないでしょう。日本の将来が危ぶまれます。

しかし、目を外に転じてみますと私にはもっと気になる現象が起きつつあります。それは、民主主義と全体主義の対立です。かつて1980年代にはソ連のゴルバチョフと、アメリカのレーガンの努力により核戦争に勝者はあり得ないとの主張が国際的となり、加えて東ドイツの崩壊による東西対立が無くなったとき、我々はこれで世界に平和がもたらされるかと期待したのです。

2020年、世界の情勢はその期待とは全く逆の方向に進みつつあります。大統領選挙の結果を捻じ曲げて発表し、国民の猛烈な反対にさらされているペルーシ大統領、終身大統領制を目指すロシアのプーチン、かつての周恩来や鄧小平の頃の集団指導制を廃し自らを個人崇拜の中心に据えた習近平、自らを神格化している北朝鮮の金正恩、さらには香港には三権分立は存在しないと声明した行政長官と、立憲民主主義をあからさまに否定する、いわば独裁者による全体主義ベルトのごときものが誕生しつつあります。この事実を前にすると、今後の世界は戦争を起こせば敵味方が共倒れになると分かっている民主主義国対全体主義国による冷戦が再び続いてゆく恐れは十分にあると思います。

コロナによる災害を克服した日本の国民がどのような国を目指すのか、一人の高齢者としてひたすら子孫の平安を祈るばかりです。



セミナーハウス・ニュース No.196
2020年10月31日発行
発行部数=1,000部

発行=公益財団法人 大学セミナーハウス
発行人=鈴木康司
編集制作=大学セミナーハウス 広報室